

そのメロディに魅せられて

「最新版 世界の国歌ベスト101」 篠崎ほか所蔵 F1セ06556

オリンピックなどのスポーツイベントのほか、重要な式典の際に演奏される国歌。国によっては複数あったり、時代と共に何度も変わったりという所もあるそうですが、自国の歴史やアイデンティティを表す国歌は、国民にとってとても重要な歌です。国歌を聴き、曲の意味や作

られた背景などを知れば、よりその国のことを身近に感じられるかもしれません。

ご紹介するCDには世界101か国の国歌が収録されています。まずは気になった国の国歌から聴いてみませんか。

スタッフのセレクション!

女ざらい 上野 千鶴子著 朝日新聞出版 B367ウ 篠崎所蔵

昨年話題になった東大入学式の祝辞を読んだのをきっかけに、いつかこの人の書いた本を読みたい、この人の研究する「フェミニズム」とはどういうものなのか知りたいと思うようになった。折しもその頃は世界的に「#Me Too」運動が盛んになり、国内でも医学部の女子受験者に対する差別が大きな話題となっていた。そもそも女性差別はなぜ起こるのか。疑問に思いながらずっと明確な答えを見つけられなかった。日本を代表するフェミニストである著者の本を読めば、なにかしらヒントになるものが見つけられるのではないかと。そう考え、手始めに選んだのが本書である。

「女ざらい＝ミソジニー」。ミソジニーとはこの本によると男にとっては女性蔑視、女にとっては自己嫌悪だということ。男にとって女性蔑視というのはなんとなく想像できるが、「女にとっては自己嫌悪」とはどういうことなのか。それは家父長制に

おける男尊女卑の根深さに起因していた。

この本は読んでいる間ずっと不快感がつきまとう。それと同時に今まで感じてきた様々な性差別の事象が腑に落ちる。あまりに社会に浸透しすぎていて意識すらしていなかった性差別の根源について、なぜ気がつかなかったのだという嫌悪のような感情をいだく。それがショックだった。

本書のあとがきには、「不愉快な思いをして読まなければならない本を書いたのは、それがどんなに不快であれそこから目を背けてはならない現実がそこにあり、それを知ることによってその現実を変えられる可能性があることを知っているからだ」という文章がある。確かに問題を認識することから解決に向けた全ては始まる。そのための読書は時に辛いものであるが、人生には必要なものなのだと改めて認識させてくれる一冊である。

篠崎図書館スタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

編集後記

運動もせず三食しっかり食べていたら、夢のシックスパックがまた遠のきました。(風雲ふわふ丸) / 自宅で体幹トレーニング。毎日やったらそれなりに効果が!(ばるめりん) / ジグソーパズルを完成させて、おうちの壁が賑やかになりました。(モシャリー) / おうち時間、普段できないことをいろいろやってそれなりに楽しんでいました。(ちゃしこ) / サボりがちだったストレッチが習慣になりました。(すずの木)

編集・発行: 江戸川区立篠崎図書館
住所: 〒133-0061
江戸川区篠崎町7-20-19 しのぎ文化プラザ内
TEL: 03-3670-9102
[しのぎ文化プラザホームページ]内篠崎図書館ページ
<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

2020年7月1日発行(季刊)

図書館報 ぷらっつ★篠崎 066号

江戸川まいにんぐ 発掘 第66回 江戸川区立図書館デジタルアーカイブ

「江戸川区史」をはじめとする郷土資料を、インターネットから無料で見られることをご存知ですか? 「江戸川区立図書館デジタルアーカイブ」をぜひご利用ください。江戸川区立図書館のホームページを経由してもアクセスできます。

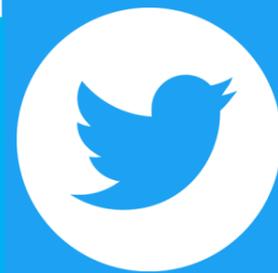


江戸川区立図書館ホームページ上部の、このボタンからアクセスできます。

デジタルアーカイブとは、美術館や博物館、そして図書館の収蔵物をはじめとしたさまざまな文化資源などをデジタル化し、記録保存することです。入手や閲覧が困難な資料でも、デジタルアーカイブとして公開されていればインターネットを通じて多くの人が見られます。

「江戸川区立図書館デジタルアーカイブ」では現在、昭和51年刊行の「江戸川区史」全3巻や、「郷土資料室特別展パンフレット」のほか、古いものでは明治時代に作成された資料も閲覧できます。写真や挿絵も含め元の資料がそのまま画像になっており、ページを送っていくと、実際に本を目の前にしているような感じがするのではないのでしょうか。

江戸川区立図書館デジタルアーカイブURL <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1312305200>



篠崎図書館公式 Twitter はじめました!

Twitterアカウント
@edolibshinozaki



イベントや展示の
情報等を発信して
いきます



- P2~P3 特集 「本を通じて世界を知る」
- P1 江戸川まいにんぐ 「江戸川区立図書館 デジタルアーカイブ」
- P4 そのメロディに魅せられて♪ 「最新版 世界の国歌ベスト101」
- P4 スタッフのセレクション 「女ざらい」

江戸川区内のイベントやスポットについてスタッフが調査して身近な情報をお届けする地域密着型のコーナーです。

また、史跡や、次世代に伝え残したい江戸川区独自のスポットを「江戸川遺産」として詳しくご紹介。史跡探訪のコーナーからは、新小岩香取神社の「^{ひきめ}墓目の神事舞^{しんじまい}」の様子などを動画で見ることができます。「『江戸川遺産』を歩いてみよう」のコーナーでは、数あるスポットの詳しい場所をすぐに地図で確認できるようになっています。もしかしたら歩き慣れた道にも「江戸川遺産」があるかもしれません。



デジタルアーカイブのトップページ。古地図も見られます。

この記事はコロナ禍の緊急事態宣言発令中に執筆しています。ステイホーム生活の中でも楽しめる江戸川区立図書館のコンテンツとして紹介しました。普段は手に取ることの少ない郷土資料ですが、意外に知らなかった地域の素敵な一面を発見できてワクワクします。そしてそんな魅力の多くが、本当なら実際に触れられる私たちの近くにあります。晴れてのびのびと外出できるようになったとき、江戸川区を歩くのがもっと嬉しくなりますように。

チェコ



チャペックのこいぬとこねこは愉快的仲間
 ヨゼフ・チャペック著
 いぬい とみこほか訳
 河出書房新社
 B989チ
 篠崎ほか所蔵

森のおうちで仲良く暮らすこいぬとこねこ。どんなことでも楽しいイベントに変えてしまいます。カレル・チャペックの実兄ヨゼフが挿絵も手掛けた愛らしい童話。反ファシズムのイラストを発表し続けたことで、強制収容所で没したヨゼフ。彼が自由のために描いた風刺画は「独裁者のブーツ」(726チ 増田幸弘ほか編訳 共和国)で見ることができます。

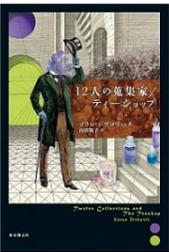
スウェーデン



冬の灯台が語る
 ヨハン・テオリン著
 三角 和代訳
 早川書房
 949テ
 篠崎ほか所蔵

エーランド島に移住したヨアキム一家。灯台の見える屋敷で幸福生活をスタートさせたはずだったが……。彼らを襲った不幸な事件、別荘地の空き巣、義母の古い手記など様々な要素に加え、屋敷に起こる異変が読む者の不安を掻き立てる。スウェーデン推理作家アカデミー賞最優秀長編賞など三冠に輝くミステリ。

セルビア



12人の蒐集家/ティーショップ
 ゴラン・ジヴコヴィッチ著
 山田 順子訳
 東京創元社
 989シ
 篠崎ほか所蔵

突飛なコレクションが数々登場します。自分の「爪」や「写真」のほかに、他人の「日々」や「夢」「希望」など奇妙なもの。「日々」を譲った者は、その日の記憶を抹消されます。やがてそれだけでは済まなくなり……。薄気味悪さを感じながらも軽快に読めます。

朝鮮



1945, 鉄原
 イ ヒョン著
 梁 玉順訳
 影書房
 J929イ
 篠崎ほか所蔵

鉄原。現在の朝鮮半島における軍事境界線、いわゆる「38度線」上にある町がこの作品の舞台だ。かつては確かにそこで皆が生きていた。それぞれの背景をもつ若者たちを通して描く第二次世界大戦終結から朝鮮戦争勃発までの物語。

台湾



歩道橋の魔術師
 呉 明益著
 天野 健太郎訳
 白水社
 923コ
 篠崎ほか所蔵

かつて台北市に実在した商業施設「中華小場」。そこで育った者たちが回想する魔術師との不思議な思い出。親の商売と密接に結びついた暮らしのなか、懸命に生きて彼らが見たその世界は何だったのか。大人になって気づけることがあるのかもしれない。

バスク地方

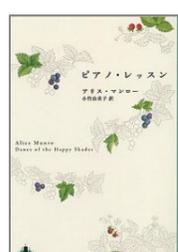


ビルバオ-ニューヨーク-ビルバオ
 キルメン・ウリベ著
 金子 奈美訳
 白水社
 993ウ
 篠崎ほか所蔵

ヨーロッパ最古の言語のひとつでありながらスペイン内戦下では弾圧されていた、バスク語で書かれた小説。家族、漁師たち、歌、失われた仕草……やがて忘れられゆく過去や伝統を、無数のエピソードを通して描く。



カナダ



ピアノ・レッスン
 アリス・マンロー著
 小竹 由美子訳
 新潮社
 933マ
 篠崎ほか所蔵

個々の人生を生きる普通の人々。その瞳の数だけ映し出される日常の景色。人との繋がり、過去や時代のしがらみの中でひっそりと光るそれは、優しくも切なくもある。カナダ初のノーベル文学賞受賞者であり「短編小説の女王」と賞される著者のデビュー作品集。

ナイジェリア



やし酒飲み
 (『世界文学全集1-08』所収)
 エイモス・チュツオーラ著
 土屋 哲訳
 河出書房新社
 908セ1-8
 篠崎ほか所蔵

やし酒を飲むことだけしか能のない主人公が、死んでしまった自分専属のやし酒造りの名人を呼び戻す旅に出ることに。森林で未知の生物に襲われたり、町で住民の代わりに生贄にされたりと、旅は苛酷を極める——。アフリカ最初の本格小説の独特な世界観をお楽しみください。

イスラエル



偶然仕掛け人
 ヨアブ・ブルーム著
 高里 ひろ訳
 集英社
 929フ
 篠崎ほか所蔵

主人公のガイは、秘密の存在「偶然仕掛け人」。指令に基づき、偶然の出来事が自然に引き起こされるよう暗躍する。順調に偶然を演出してきた彼だったが、ある案件をきっかけに物語は思わぬ展開に——。自分の人生も誰かに操られているかと思うとゾッとしました。

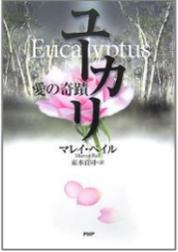
インド



大地のうた
 ビプティブション・ボンドパッタエ著
 林 良久訳
 新宿書房
 929ホ
 篠崎所蔵

ベンガル地方の片田舎、貧しいバラモン家庭で育つ姉弟。辛い中にも、自然と戯れながら様々な驚きや発見を楽しむ姿が愛おしく描かれています。インド特有のカースト制や人々の暮らしぶりも興味深く、どんどん作品に引き込まれていきます。

オーストラリア



ユーカリ
 マレイ・ベイル著
 東本 貢司訳
 PHP研究所
 933へ
 篠崎所蔵

ユーカリの森に住む美しい娘とその父親の、婿探しのお話。千夜一夜物語のように繰り広げられるオーストラリア版竹取物語。幻想的でとらえどころがないようで、結末に向けて張られた伏線の数々。2つの文学賞を取ったオーストラリア文学の傑作。

ラテンアメリカ



20世紀ラテンアメリカ短篇選
 野谷 文昭編訳
 岩波書店
 B963ニ
 篠崎ほか所蔵

溺死した男のノートに記録された、不気味なマヤの人像との生活。薄明かりの下の決闘。目をつぶって橋を渡る少年が見たもの……。中南米文学の傑作短編を16篇所収。自然、神話、征服の歴史が渾然一体となった怪しい魅力に惑わされ、虜になってしまうでしょう。